

平成 20 年度 第 2 回研究会協議記録 (概要)

1. 日 時:平成 20 年 10 月 9 日(木)14:05~17:15
2. 会 場:千葉県 東京事務所 会議室(都道府県会館 14 階) (千代田区永田町)
3. 出席者:研究会参集メンバー 9 名
(柏市 2 名、静岡県 1 名、逗子市 1 名、大和市 1 名、佐賀県 1 名、千葉県 3 名)
アドバイザー 小松 孝之氏(株式会社ちばぎん総合研究所)
オブザーバー田中 泰氏(株式会社 WAVE 出版) 以上 11 名

4. 協議概要

(1) NPO 活動推進自治体フォーラム静岡大会 第三分科会の内容について

1) 議論の進め方

座席形態:研究会メンバー(3名程度)や事例報告者・アンケート調査結果報告者は、前方席・登壇スタイルとしない。パネルディスカッション的な要素は廃する。

手 法:色カード等使用によるアイスブレイクをする。
ポストイットによる意見整理をする。
(ホワイトボード OR 模造紙の活用。スクリーン映写の活用は未定)

時間配分:午前の部(9:30~12:00)のうち約 60 分は調査結果報告・事例報告と一括コメント、残り約 90 分は大座談会を実施。昼食(12:00~13:00、弁当持参 OR 当日申込み)。午後の部(13:00~14:00)のうち約 50 分は大座談会を実施、約 10 分で総括。

調査結果報告・事例報告後の休憩時間を利用しポストイットによる意見整理を行う。

役割分担:基本的には別紙提示(案)のとおり対応する。グループワークではないのでスタッフは少人数で対応可能である。
ただ、活発な意見交換を想定すると参加者向けマイク担当者の増員が考えられるが、会場の広さ、参加者人数によってはマイク不要の可能性もあるので、現地確認(10/31 予定)の上、判断します。

配付資料:アンケート調査結果速報は当日配付する。

(アンケート回答協力自治体から結果提供に関する問い合わせが多いため、速報版をネットワーク会員あてメール配信することを確認)

2) 論点(研究会としての話題提供分)の絞込み

「より良い提案制度とするためにせつかく制度をつくり、地域課題の解決を増やそうとしたのに、なぜ提案件数は伸び悩み少ないのか？」を議論の入り口として午前の部では 制度の設計・構造に関する話し合いから 制度をうまく機能させるための運用など付随的な事柄に関する話し合いへ、そして午後の部では 制度の目的・役割・あるべき姿など総括的な話し合いへと展開していく。

3) その他

分科会に参加する研究会メンバーには、発言を前提として論点に関する意見を整理の上、分科会に臨んでもらうよう徹底しておく。

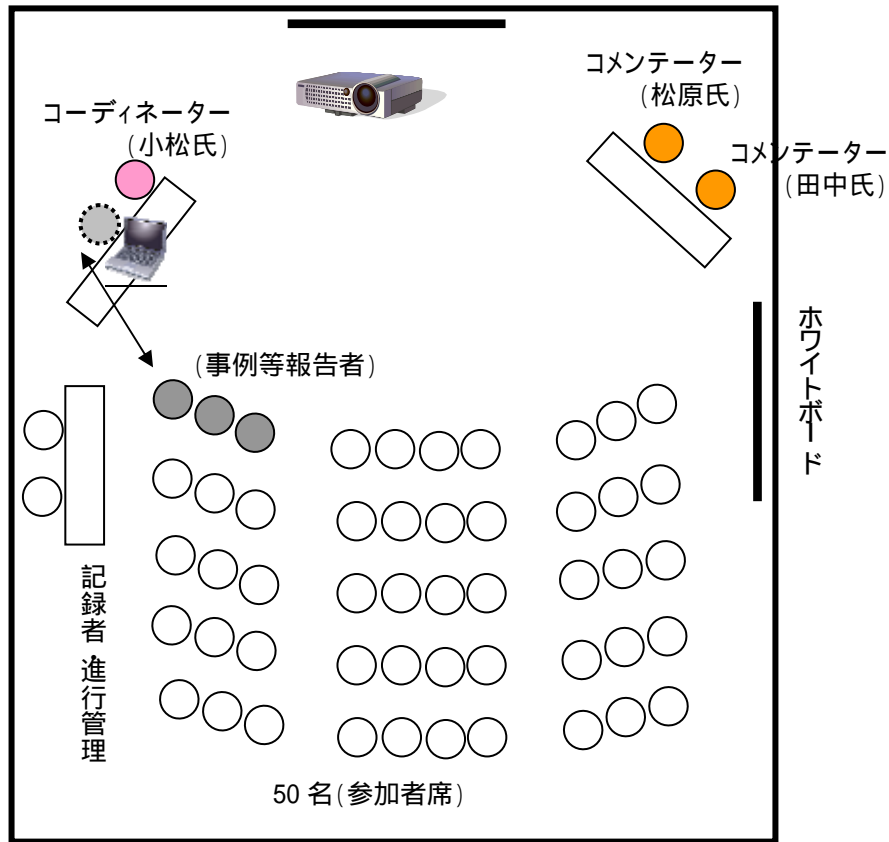
< 詳細は、以下、「1. 分科会概要」～「4. 運営タイムテーブル」(協議結果を踏まえ、再度整えたもの) >

1. 第三分科会概要

テーマ	より良い協働のための協働事業提案制度	
サブテーマ	～ NPOが活きる提案制度を考える～	
開催趣旨	全国で取組まれている「行政とNPOとの協働事業提案制度」の仕組みや課題、改善方策等について討論し、地域の実情に即したより良い制度のあり方と方向性を探ります。	
方式	協働事業提案制度に関するアンケート調査結果中間報告、自治体制度事例紹介、ディスカッション、コメンテーターによる考察	
募集人数	50名程度	
出演者	<p>コーディネーター 小松 孝之氏(株式会社ちばぎん総合研究所 上席研究員)</p> <p>コメンテーター 松原 明氏(特定非営利活動法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 常務理事・事務局長)</p> <p>田中 泰氏(株式会社WAVE出版 編集部)</p> <p>アンケート調査報告者 「協働事業提案制度研究会」参加自治体職員 (千葉県NPO活動推進課 NPO事業室主査・小川 一美)</p> <p>事例報告者 山形県県民文化課 県民活動推進室 県民活動推進主査・佐野 晃氏 豊中市政策企画部コミュニティ政策室 室長・本荘 泰司氏</p>	
報告者	小松 孝之氏	
タイム テーブル	9:30～9:40	開会 10分 ＜趣旨、挨拶、コーディネーター紹介、日程説明＞
	9:40～9:50	自治体の事例報告等 45分 協働事業提案制度に関するアンケート調査(速報)報告 ＜協働事業提案制度研究会 小川 一美＞【10分】
	9:50～10:00	山形県の実例報告＜佐野 晃氏＞【10分】
	10:00～10:10	豊中市の実例報告＜本荘 泰司氏＞【10分】
	10:10～10:20	一括質疑応答・コメンテーターコメント【10分】
	10:20～10:30	休憩(ポストイット記入/意見収集・分類・整理)
	10:30～12:00	大座談会 90分
	12:00～13:00	昼食
	13:00～14:00	大座談会 50分 総括【10分】

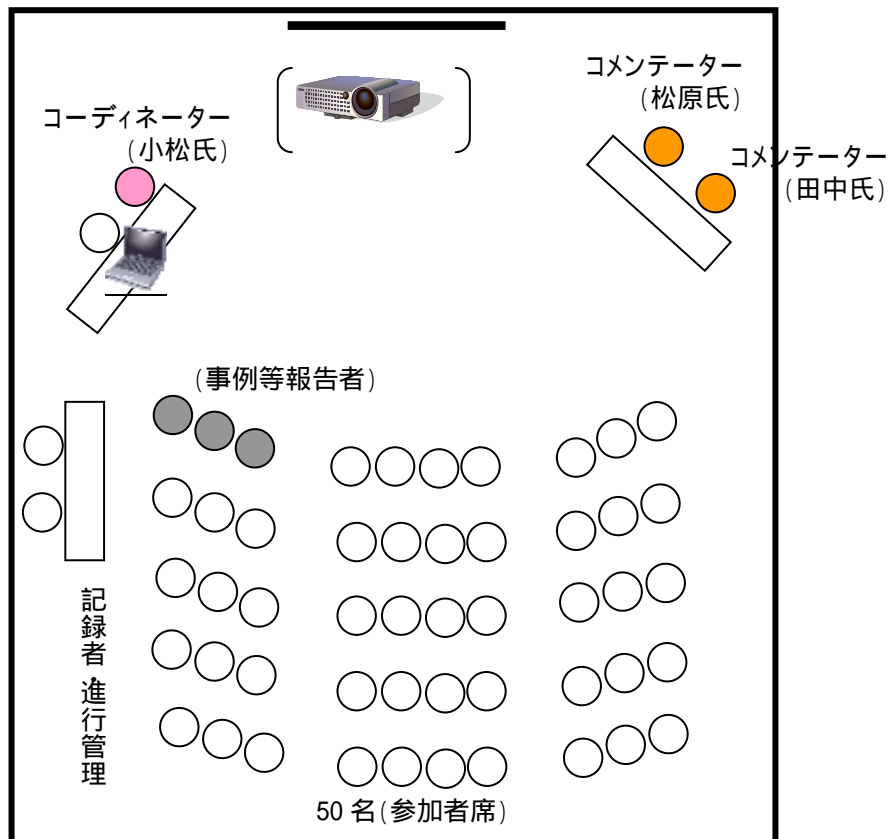
2. 会場配置図

事例紹介の時 9:40~10:20 スクリーン



大座談会の時 10:30~12:00、13:00~14:00

スクリーン、模造紙あるいはホワイトボード



3. 役割分担表

主担当、 副担当

担当	氏名	役割
責任者 “(サブ) “(サブ)	小川氏(千葉県) 井川氏(浜松市) 伊藤氏(藤枝市) 町田氏(千葉県)	コーディネーター、コメンテーター、事例報告者との調整 会場設営確認 会場設営確認(受付) コーディネーター(昼食等)、配布資料、備品等の確認
設営 スタッフ	小川氏(千葉県) 井川氏(浜松市) 町田氏(千葉県)	会場設営(PC、看板ほか)8:40までに完了
	伊藤氏(藤枝市) 始関氏(千葉県) 岩谷氏(千葉県)	受付設営(配付資料ほか)8:50までに完了
受付 スタッフ	伊藤氏(藤枝市) 井川氏(浜松市) 始関氏(千葉県) 岩谷氏(千葉県)	受付名簿チェック・(名札)資料配付 (9:00~9:30 所定時間で切上げる)
司会 スタッフ	内山氏(千葉県)会	司会(開会、休憩等の案内、閉会、クロージングセッション案内)、進行時間管理
	NPO 活動推進課長	あいさつ(研究会事務局代表)
記録・ポスト イット スタッフ	町田氏(千葉県) 岩谷氏(千葉県)	録音・カメラ撮影、筆記(模造紙・PC映写・意見プロット)、 <u>ポストイット回収作業</u> (第3分科会 9:30~14:00、クロージング 14:30~16:00)
マイク担当 スタッフ	始関氏(千葉県) 伊藤氏(藤枝市)	会場の質疑等対応(ワイヤレス2本)、 <u>ポストイット回収作業</u> (第3分科会 9:30~14:00) <u>会場や参加者の状況により使用</u>
事例報告等 9:30~	小川氏(千葉県) 佐野氏(山形県) 本荘氏(豊中市)	アンケート調査概要報告 事例報告(しくみと設計の苦労等) 事例報告(しくみと見えてきた課題等)
大座談会 参加者 10:30~	事例報告者(3) A小川氏(千葉県)会 B佐野氏(山形県) 会 C本荘氏(豊中市) 会 研究会メンバー(4) D沖本氏・高橋氏(柏市)会・ス E福本氏(逗子市)会・ス F町井氏(静岡県)欠 G山本氏(大和市)会 H岩永氏・久我(佐賀県)氏会 MLメンバー(7) I吉田氏(岩手県)ス J星野氏(群馬県)ス K鳥羽氏(埼玉県)欠 L荒木氏(調布市)会 M藤原氏(滋賀県)会 N鈴木氏(京都府) O小島氏(東海市)会 P石川氏(北九州市)会 Q岩切氏(宮崎県)会	話し合いに積極的に参加 (事前意向確認 会:会場参加希望者、ス:スタッフ協力可能者) <u>スについては、スタッフとしての配置・協力は不要である。</u>
備品準備	小川氏(千葉県) 井川氏(浜松市) 伊藤氏(藤枝市) 町田氏(千葉県)	模造紙(7枚) サインペン(50本) ポストイット 横断幕 前垂れ 講師等の水 マイク(固定3本、ワイヤレス2本) セロテープ(2個) ホッチキス(2個) のり(2個) はさみ(2個) カッター(2個) A4用紙 名札用台紙、名札 受付名簿 配付資料 パソコン プロジェクター <u>アイスブレイク用小道具</u>

4. 運営タイムテーブル 11月18日(火)分科会参加者 定員50名(35名見込み)

タイムテーブル (会議室)	担当	設営・打合せ・受付	
7:30 入場可	小川・町田氏	会議室 会場・受付セッティング事前確認 PC動作確認 (千葉県小川、山形県佐野氏、豊中市本荘氏)	
8:40 集合	全スタッフ	スタッフ(別添「役割分担表」太枠欄の者)打合せ 役割分担の確認、設営(会場・受付)開始	
9:00	受付スタッフ	受付開始(10:00目安に撤退)	
9:15 以降	小川氏	コーディネーター、コメンテーター変更点などの確認 (必要に応じて)	
タイムテーブル (会議室)	時間	担当	本番
9:30~9:40 【10分】	10分	(司会) 内山氏	<開会> あいさつ 【千葉県】 NPO活動推進課長 趣旨説明・本日のスケジュール説明 コーディネーター及びコメンテーター紹介 【コメンテーター】 特定非営利活動法人 シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 常務理事・事務局長 松原明氏 株式会社WAVE出版 編集部 田中泰氏 【コーディネーター/クロージングセッション報告者】 株式会社ちばぎん総合研究所 上席研究員 小松孝之氏 (各一言) ~以後の進行 コーディネーター 小松氏へ~
	1・2分	小松氏	アイスブレイク(色カード等使用) ~本日の議論の進め方等説明~
9:40~9:50 【10分】	10分	小川氏	アンケート調査報告【研究会・小川氏】
9:50~10:00 【10分】	10分	佐野氏	事例報告【山形県・佐野氏】

10:00～10:10 【10分】	10分	本荘氏	事例報告【豊中市・本荘氏】
10:10～10:20 【10分】	10分		一括質疑応答、コメントーターのコメント
10:20～10:30	10分		休憩(ポスタイト記述、回収・分類整理)
10:30～12:00 【90分】予備15分	45分	参加者	【研究会メンバーはじめ任意の発言】 議論の口火 「NPOとの協働事業をスムーズに、もっと活性に行ってもらうために、せっかく制度をつくったのに提案件数が伸び悩み少ないのはどうしてですか？」 提案制度の設計に問題があるとしたら...考えられること(制度構造面) コメントーター見解 模造紙(PCスクリーン)整理
	45分	参加者	提案制度の設計以外に問題があるとしたら...考えられること(運用面) コメントーター見解 模造紙(PCスクリーン)整理
12:00～13:00	60分		休憩(昼食) コーディネーターと研究会メンバーによる午後の部へ向けた打合せ(ランチミーティング)
13:00～13:45	45分	参加者	(これまでの議論を振り返って捕捉論点) ランチミーティングの結果 提案制度の役割やあり方について コメントーター見解 模造紙(PCスクリーン)整理
13:50～14:00	10分	コメントーター、コーディネーター	コメントーター総括コメント 模造紙(PCスクリーン)整理 ・株式会社WAVE出版 田中氏 ・特定非営利活動法人 シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 松原氏 ～以後の進行、内山氏へ～
14:00		内山氏	<閉会> クロージングセッション(14:30～)の案内
	15分		コーディネーターと座談会メンバー等 クロージングセッションの打合せ

意見だしの手法（これから協議・検討する）

（案）の1

ポストイットによる意見出しを行い、模造紙（あるいはホワイトボード等）に記入者自らが貼り付けを行い、議論を深めるとともに議論経過をかたちとしていくが、文字が読めない可能性大。

ただし、ポストイットの記入ルール（必ず記入すること）としては、団体名、氏名、
に関すること（分類の都合上、予め属性を記号化しておく） 1枚1項目とする。

（案）の2

ポストイットに替わる「意見出しペーパー」（雛形・一例）を配付してしまい、コーディネーターからの質問を中心に議論を深めるだけの目的として使用する。

（記入者側が書きやすく、質問もしやすく回収後、分類整理がしやすいのが利点）

提案制度に対する意見

団体名・記入者名

（提案制度：有・無）

【自治体とNPOとの対話（意見交換、事前協議・相談等）に関して】

【協働事業提案制度に関して】

1 公募テーマの設定について思うこと（自治体側のテーマ、NPO側のテーマ）

2 提案書について思うこと

3 選考方法について思うこと（審査基準を含む）

4 協働事業実施中について思うこと

5 協働事業実施後（継続性や評価など）について思うこと

その他 提案制度全般について感じる事、思うこと（疑問・質問を含む。）